

【I】 次の文章を読み、設問1～4に答えなさい。

古代エジプト人は、独特な来世観のもと墓や副葬品の準備に力を入れた。古王国時代には、おそらく王の墓としてピラミッドがさかんに築かれた。また、王の墓は盗掘されていることがほとんどであるが、ほぼ埋葬当時のまま発見されたツタンカーメン王墓には、数多くの豪華な副葬品が納められていた。人びとは亡くなった後も霊魂は不滅であると信じ、肉体を保存するために心臓以外の内臓や脳を取り出し、遺体を乾燥させてミイラをつくった。新王国時代の「死者の書」には、冥界の王である[C]の前で死者が最後の審判を受ける際に必要な呪文が含まれている。最後の審判を通過することによって、死者は来世で再生復活が可能になると考えられたのである。

設問1 下線部Aに関連して、古王国時代のピラミッドの原型と考えられている墳墓の呼称を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 下線部Aに関連して、エジプト文明の影響を強く受けたクシュ王国でも大小のピラミッドが建てられた。この王国は一時期エジプトを征服したものの、アッシリアの侵攻を受けて南方へ退き、その後、都を移した。製鉄や商業で栄えたこの新都の名称を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 下線部Bが発見された「王家の谷」の対岸に位置し、新王国時代の政治の中心地であった都市としてもっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア キザ イ アスワン ウ メンフィス エ テーベ

設問4 空欄[C]の妻である女神の名前としてもっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ホルス イ アメビス ウ ネフェルティティ エ イシス

【II】 次の文章を読み、設問1～8に答えなさい。

11世紀の東部ユーラシアには、キタイ(遼)、北宋、西夏という諸国家が、それぞれに盟約を結び、平和的に共存する状態が長く続いた。この時代、北宋は総じて軍事的に劣勢であったが、官俸制度や国内政策で数々の改革を行い、11世紀以降の中華王朝の制度的な基盤を築いた。一方で、遼や金は、キタイと女真それぞれの由来からの軍事・行政制度と、中国的な官僚・行政制度を併存させた国家体制を構築し、後世の東部ユーラシアに成立した国家に影響を与えた。

設問1 下線部Aに関連して、キタイがその建国を助け、その見返りとして「燕雲十六州」をキタイに割譲した国家を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 後唐 イ 後梁 ウ 後晋 エ 後周

設問2 下線部Bに関連して、西夏はタングートを主体として形成された国家であるが、黄巢の乱の平定に功績をあげ、唐から李姓を賜った。当時のタングートの指導者の名前を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 李元昊 イ 拓跋思恭 ウ 拓跋珪 エ 李成桂

設問3 下線部Cに関連して、11世紀初頭にキタイと北宋との間で結ばれた盟約の名称を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 下線部Dに関連して、王安石を起用して大規模な官制改革を行なった、北宋第6代皇帝は誰か、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 下線部Eに関連して、王安石が主導した、物産安定や物資流通の円滑化を目的とした、政府による買い上げと転売を実施した政策を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 市易法 イ 青苗法 ウ 保甲法 エ 均輸法

設問6 下線部Fに関連して、女真が居住した地域では、7世紀末に渤海が建国されたが、その建国者の名前を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問7 下線部Gに関連して、女真人やキタイ人を主に対象とした軍事・行政制度「猛安・謀克」について、その編成として正しいものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 100戸＝1謀克、5謀克＝1猛安 イ 150戸＝1謀克、10謀克＝1猛安
ウ 300戸＝1謀克、5謀克＝1猛安 エ 300戸＝1謀克、10謀克＝1猛安

設問8 下線部Hに関連して、13世紀後半にクビライ=カアンが即位に反対し、14世紀初頭まで長く大元ウルスに対峙した人物の名前を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア グスク イ カイドウ ウ アリクブケ エ フレグ

【Ⅲ】 次の文章を読み、設問1～8に答えなさい。

ムスリム諸王朝の君主は、政治的・宗教的目的のもと、支配下の都市に**A**宗教施設を建設した。サラディン（サラフ・アッディーン）は、1169年にエジプトを掌握すると、カイロとその近郊にスンナ派の学院（マドラサ）を複数建設した。これはシーア派のイスマール派が建てた**B**の体制を否定し、スンナ派に正統性を置いた国家づくりを目指すサラディンの政策と深く関わっていた。

マムルーク朝の歴代君主も、カイロに多くの学院を建設したが、14世紀の後半以降、**C**スーフイーの修道場の建設に力を注ぐようになる。これは、この時代のエジプトで神秘主義が社会に根を下ろし、民衆のみならず支配層やウラマーの間にも広まっていたことを反映している。

Dオスマン帝国のメフメト2世は、コンスタンティノープルを征服し、ビザンツ帝国を滅ぼすと、ギリシア正教の総主教座が置かれていた**E**をモスクに造り変えた。これは、キリスト教国家からイスラーム国家への転換を内外に示す、政治的かつ象徴的な行為であった。

Fサファヴィー朝のアッバース1世は、新首都イスファハーンを中心に広大な広場を設け、その一角に**G**巨大なモスクを建設した。また、マシュハドやコムにあるシーア派イマーム一族の墓廟を再建・整備することで、シーア派国家としての姿勢を強く打ち出した。

オスマン帝国の総督としてエジプトの実権を握った**H**ムハンマド・アリーは、それまでのエジプトの伝統的な建築様式とは異なる、オスマン様式のモスクを建設したが、エジプトの近代化・西洋化政策を進めた後らしく、裝飾にはヨーロッパの影響が色濃く見られる。

設問1 下線部Aに関連して、こうした宗教施設の設立者は、施設の運営のために土地や商業施設などを寄進した。このイスラームの宗教寄進制度の名称を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 空欄**B**に入る王朝の名称を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 下線部Cに関連して、次のア～エの記述の中から誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ガザリーはスーフイーとして活動し、神秘主義を取り入れた宗教思想を探求した。
- イ スーフイーたちの活動は、インド、東南アジアなどへのイスラーム教の伝播に寄与した。
- ウ 12世紀頃から、特定のスーフイーの信奉者たちが集まった神秘主義教団が各地に成立した。
- エ イブン・アブドゥル・ワッハブは、神秘主義に基づいたイスラーム改革運動を指導した。

設問4 下線部Dに関連する出来事を、時代順に古いものから正しく並べたものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ギュルハネ勅令の発布→イエニチェリ軍団の解体→ミドハト憲法の発布→クリミア戦争
- イ クリミア戦争→ギリシアの独立→青年トルコ革命→ギュルハネ勅令の発布
- ウ イェニチェリ軍団の解体→ギュルハネ勅令の発布→ミドハト憲法の発布→青年トルコ革命
- エ 青年トルコ革命→イエニチェリ軍団の解体→ミドハト憲法の発布→ギリシアの独立

設問5 空欄**E**に入る施設の名称を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問6 下線部Fに関して、次のア～エの記述の中から誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア シーア派の神秘主義教団を母体として誕生した。
- イ イスマール1世は、チャルディランの戦いでオスマン帝国に敗北した。
- ウ アッバース1世は、バルシヤ湾のホルムズ島をポルトガルから奪った。
- エ クーダターによって滅亡し、替わってババヴィー朝が成立した。

設問7 下線部Gは、イラン＝イスラーム革命以後、「イマームのモスク」と呼ばれるようになった。イラン＝イスラーム革命以後のイランで起こった出来事として、次のア～エの記述の中から誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア イラン＝イラク戦争が起こった。
- イ モサッダグ首相が石油の国有化を宣言し、第二次石油危機が起こった。
- ウ テヘランのアメリカ大使館が占拠され、アメリカとの対立が深まった。
- エ ホメイニの死後、ハメネイが最高指導者となった。

設問8 下線部Hが創始した王朝に関して、次のア～エの記述の中から誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア エジプト＝トルコ戦争に勝利し、オスマン帝国から独立した。
- イ フランス人レセップスの提案により、スエズ運河を開削したが、財政難に陥った。
- ウ この王朝の君主に対して憲法制定や議会開設などを求めるウラビー運動が起こったが、イギリス軍の介入によって挫折した。
- エ 自由将校団のクーデターによって打倒され、エジプトは共和制に移行した。

【Ⅳ】 次の文章を読んで設問1～4に答えなさい。

7～9世紀のユーラシア大陸では、それまでにない規模でのヒトとモノの交流が生じ、各地で新しい文明が誕生した。ユーラシア中央部では、7世紀にアラビア半島でイスラム教が生まれ、イスラム国家は正統カリフ時代を経て、次の **A** 朝の時代になると、西北インドから北アフリカを支配する大国家を形成した。

これに対し西ユーラシアでは、フランク王国がキリスト教布教の理念のもと、周辺地域の征服活動を行っていた。イスラム勢力がイベリア半島を征服し、フランク王国にも遠征を行うようになると、イスラム教徒との戦いは、キリスト教世界を防御する聖戦とみなされた。

一方、東ユーラシアでは、中国の統一王朝となった唐が、周辺諸国を滅ぼし服属させ、大帝国を実現した。都の長安には、諸国の使節、留学生、商人などが多数集まり、また、宗教的にも、仏教、道教の寺院以外にキリスト教の一派のネストリウス派、ゾロアスター教、マニ教の寺院も存在する国際都市となった。

設問1 空欄 **A** の王朝に関する記述として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア この王朝はシリア総督ムアウィヤが開いた。
- イ この王朝の首都はバグダードにあった。
- ウ この王朝を支持した人々はシーア派と呼ばれた。
- エ この王朝の時代、フーリスミーやイブン＝シーナーが学者として活躍した。

設問2 下線部Bに関連して、年代順に古いものから3番目に当たるものを、次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 後ウマイヤ朝の成立
- イ トゥール・ボワティエ間の戦い
- ウ 西ゴート王国の滅亡
- エ 小ピピンのフランク王即位

設問3 下線部Cに関して、当時、長安に多数住み、西域の文化を伝えたことで知られるイラン系民族の名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問4 下線部Dの説明として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア イエスには神性と人性が一つに融合していることを唱え、その教義は単性論と呼ばれた。
- イ イエスの神性と人性は分離していることを唱え、エフェソス公会議で異端とされた。
- ウ 現世的なものを完全に否定する二元論を唱えた。その教義は後のカタリ派に継承された。
- エ イエスが人間であり神性を持たないことを唱え、ニケア公会議で異端とされた。

【Ⅴ】 西洋近代史に関する1、2の文章を読み、設問1～13に答えなさい。

1. 17世紀以降のイギリスは様々な方法で資本蓄積を進めていった。その好例が大西洋におけるイギリス、西インド諸島・アメリカ、アフリカを結ぶ三角貿易である。そしてこの貿易を支えていたのが現在のナイジェリアにあった

A 王国などから輸出される**B** 奴隷であった。三角貿易によってもたらされた商品は、17世紀に制定された**C** 航海法の効果も相まって大きな富を英国にもたらすことになった。フランスもまた奴隷貿易を行っており、18世紀においてイギリスとフランスは通商上の最大のライバルであり、しばしば世界各地で**D** 戦火を交えた。

国内でも大きな経済的な革新が進んだ。名譽革命以降頻発するフランスとの戦争の戦費調達を目的として**E** イングランド銀行が設立された。この銀行は、同時期に成長を続けた株式市場、保険会社などとともにイギリスの金融の礎を築いたと言えるだろう。農業の面でも改革が進んでいた。農業の経営、技術面での革新をもたらした**F** 農業革命である。その中でも第2次開き込み(エンクロージャー)は、**G** 18世紀イギリス社会に大きな影響を与えた。

設問1 空欄 **A** に当てはまる語はどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア マリ
- イ ザンジバル
- ウ アクスム
- エ ベニン

設問2 下線部Bの貿易に関連してもっとも適切な説明を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 奴隷商人らは、アフリカ側の反抗を恐れ、銃火器を彼らに与えることを固く禁じていた。
- イ 奴隷輸出後も西アフリカでは人口増加が続いた。
- ウ 奴隷は、サトウキビなど商品作物の栽培に酷使された。
- エ ウイルバーフォースらは、奴隷貿易の存続を主張した。

設問3 下線部Cに関連してもっとも適切な説明はどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア チャールズ2世によって初めて制定された。
- イ 当初はスペインの貿易を妨害する目的で制定された。
- ウ 自由主義の台頭の中、1849年に廃止された。
- エ その主な目的は英領植民地間を航海する商船をイギリス船に限定することであった。

設問4 下線部Dに関連して、南インドにおいてイギリスとフランスが3次にわたって起こった戦争の呼称を、記述解答用紙の所定欄に記入しなさい。

設問5 下線部Eの説明として誤っているものはどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 対フランス戦争戦費調達のため発行された政府の国債を引き受けた。
- イ この銀行の創設、国債制度の確立などは、財政革命と言われる。
- ウ 1694年に創設された。
- エ 2000年、ブレア政権の時代に国有化された。

設問6 下線部Fに関連して、イギリス農業革命についてもっとも適切な説明はどれか。次のア～エの中から一つ選び、

マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 新農法に並行して三圃制農業が、19世紀以降も普及していた。
- イ 新しい輪作農法としてノーフォーク農法が導入された。
- ウ 共有地、耕作地の開き込みは、主に牧畜の振興を目的とした。
- エ 議会による禁令にもかかわらず開き込みは進められた。

設問7 下線部Gに関連する出来事で、年代順に古いものから2番目に当たるものはどれか。次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アーヘン和約に加わり、これを締結した。
- イ エトレヒト条約に加わり、これを締結した。
- ウ ヴォルポールが首相に就任した。
- エ イングランド、スコットランドが連合し、グレートブリテン王国が成立した。

2. アメリカ合衆国から始まった世界恐慌により大きな被害を受けたドイツでは、既存の政治・社会体制を批判し、大衆に強く訴えかけるナチ党や共産党が躍進した。ナチ党はユダヤ人排斥、ヴェルサイユ条約の破棄、民族共同体の建設による国民生活の安定などを掲げて、支持者を増やしていった。1932年の国会選挙でナチ党は第一党となり、翌年1月、党首のヒトラーがJ大統領によって、首相に任命された。

政権獲得後のナチ党は政敵を弾圧し、独裁体制を敷いた。この時代、ドイツ国民の自由は著しく制限され、少数者は迫害にさらされた。他方で、この体制は経済を立て直しに一定の成果を取めたことや、国民の娯楽や福祉の充実に努めたこと、巧みな政治宣伝を展開して大衆心理に訴えかけたことなどから、多くの一般国民に支持された。

第二次世界大戦が長期化すると、兵役や労働義務の負担が増し、物資も不足が became したため、ドイツ国民の生活は困窮の度合いを深めた。それにもかかわらず、ナチ支配に対する抵抗運動は比較的少なく、戦争の最末期まで国家体制は維持された。こうした状況が、同時期の日本と似通っているとする見解もある。

設問8 下線部Hに関連して、世界恐慌に直面した各国の対応についての説明として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アメリカ合衆国のフランクリン・ローズヴェルト大統領は積極的な市場への介入策を打ち出し、また銀行の救済をはかるとともに、管理通貨制度から離脱した。
- イ イギリスのマクドナルド労働党内閣は、失業保険の削減などを含む緊縮財政を提案したが、労働党はこれに反対して、彼を除名した。そのため、マクドナルドは保守党などと協力して、挙国一致内閣を改めてつくった。
- ウ フランスでは右派のブルムが首相となり、自国の植民地を開き込んでフラン・ブロックを築いて、経済の安定化を試みた。
- エ 世界恐慌によって深刻な不況に見舞われたイタリアでは、極端なナショナリズムや暴力による秩序回復を掲げるムッソリーニがローマ進軍を敢行し、首相に就任した。

設問9 下線部Iに関連して、同条約やヴェルサイユ体制についての説明として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ヴェルサイユ条約に基づいて、アルザス・ロレーヌは15年間、国際連盟の管理下におかれることになった。
- イ ヴェルサイユ条約によってラインラントは非武装化されたが、その後のロカルノ条約によって、同地域の武装化が承認された。
- ウ ヴェルサイユ条約によってオーストリア＝ハンガリー帝国が解体され、オーストリアはドイツ人地域のみ的小国となった。
- エ ドイツに課せられた賠償の負担は、ドーズ案やヤング案によって軽減された。

設問10 空欄Jに当てはまる人名は何か。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問11 下線部Kに関連する説明として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 1950年代、フルシチョフはスターリン批判を行い、西側陣営との平和共存を唱え、さらにコミンフォルムも解散した。
- イ 1960年代のインドネシアでは、九・三〇事件を機に共産党が権力を掌握した。
- ウ 1970年代のチリでは、ソ連に支援されたピノチェトらによるクーデタが起き、軍部の独裁政権が続いた。
- エ 中国では1980年代の末に天安門事件が発生し、江沢民総書記が解任され、趙紫陽が後任に任命された。

設問12 下線部Lに関連して、各国の抵抗運動・抗議運動についての説明として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 1960年代にはエチオピアでアジア＝アフリカ会議が開催され、アフリカ統一機構(OAU)が発足した。
- イ 1960年代のアメリカ合衆国では公民権運動が展開し、ケネディ政権が公民権法を成立させた。
- ウ 1960年代後半、チエコスロヴァキアでは「プラハの春」と呼ばれる自由化運動が発生したが、ワルシャワ条約機構軍の侵攻によって鎮圧された。
- エ 1980年代のハンガリーでは、ワレサを指導者とする自主管理労組「連帯」が組織され、体制変革を要求した。

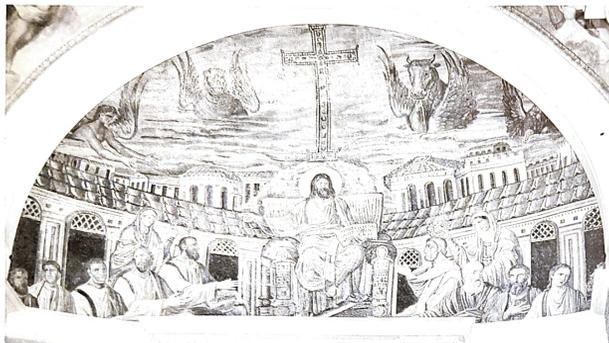
設問13 下線部Mに関連して、1930～40年代の日本に関する出来事を時代順に古いものから正しく並べているものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 盧溝橋事件→国際連盟脱退の通告→日ソ中立条約の締結→日独伊三国同盟の締結
- イ 盧溝橋事件→日ソ中立条約の締結→国際連盟脱退の通告→日独伊三国同盟の締結
- ウ 国際連盟脱退の通告→日ソ中立条約の締結→盧溝橋事件→日独伊三国同盟の締結
- エ 国際連盟脱退の通告→盧溝橋事件→日独伊三国同盟の締結→日ソ中立条約の締結

〔Ⅵ〕 次の文章を読み、設問1～5に答えなさい。

美術において都市や自然景観を表すことは、しばしば宗教や領土意識と結びついていた。

この図はローマの聖堂にある4～5世紀のモザイク壁画である。中央キリストの背後に見える丘は、キリストが磔になつたゴリゴダである。ここでは、この都市が天国を表すと考えられている。



ローマ、サンタ＝プデンツィアーナ聖堂

レンブラントの風景画は、広大な空の表現に特徴がある。これは、当時のオランダが事実上プロテスタントのオランダ改革派教会を国教とし、聖画像を偶像として忌避していたことも関係すると考えられている。果てなく広がる空そのものが、神の存在を暗示しているとも解釈されている。

一方、フェルメールの《デルフトの眺望》では、静謐な都市景観が緻密に描写されている。そこには、独立を勝ち取った当時のオランダ人が自らの領土に抱いた誇りも込められている。

ロマン主義の登場以降、風景画と領土の関係はより明確となる。19世紀中葉のアメリカにおいてハドソン＝リヴァー派の画家たちが描いた雄大な自然の風景には、アメリカの大地を神に約束された土地とみなす宗教的確信が反映されている。

19世紀末になると写真技術が普及し、風景の記録にますます用いられるようになった。この時期、多くの写真家がパレスチナの聖地を撮影し、その画像が広く流布した。こうした視覚的イメージの拡散は、同世紀末以降にヨーロッパ各地からユダヤ人がパレスチナへ移住し、やがてユダヤ人国家建設運動が高まっていく過程とも深く関わっていたと考えられる。

設問1 下線部Aに表されている都市の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 下線部Bと同時代の人物としてもっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ダンテ イ ミルトン ウ ルソー エ オーウェン

設問3 下線部Cの作品を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。



ア



イ



ウ



エ

設問4 下線部Dの説明としてもっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 理性よりも個性や感情を重視した。
- イ 現実そのままの表現を重視した。
- ウ 美の享受それ自体を重視した。
- エ 調和や均整、格調の高さを重視した。

設問5 下線部Eに関連して、正しい文章を次のア～エの中から一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア サンティアゴ＝デ＝コンポステーラには十二使徒のひとり聖アンデレの墓があるとされる。
- イ ブダガヤにはクシャーナ朝アショーク王が建立したストウパがある。
- ウ アッジでフランチェスコが創設した修道会では、人里離れた修道院において共同生活を送りながら、祈りと労働に専念した。
- エ ムハンマドは630年にメッカを征服し、多神教の神殿であったカーバをイスラム教の聖殿にあらためた。

〔以下 余白〕